

部局(庁)名	健康福祉部
--------	-------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（地域振興局福祉環境部）

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

（対象施設）

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	北秋田地域振興局大館福祉環境部	大館市	存続	機能維持のための修繕を実施
2	北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部	北秋田市	存続	大規模修繕を実施
3	山本地域振興局福祉環境部	能代市	存続	大規模修繕を実施
4	秋田地域振興局福祉環境部	潟上市	存続	大規模修繕を実施
5	由利地域振興局福祉環境部	由利本荘市	存続	大規模修繕を実施
6	仙北地域振興局福祉環境部	大仙市	存続	機能維持のための修繕を実施
7	平鹿地域振興局福祉環境部	横手市	存続	大規模修繕を実施
8	雄勝地域振興局福祉環境部	湯沢市	存続	大規模修繕を実施
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

大規模修繕の実施等により長寿命化を図りながら存続。
基本的に、屋根の崩落、外壁等の落下などの危険性がある老朽・損壊箇所を、優先して修繕対応する。
各福祉環境部とも、空調機器のメーカー部品供給が終了、又は終了が迫っている状態のため、速やかに更新をしていく。
一部の福祉環境部では、耐震改修工事の実施や非常用発電機の更新が必要とされており、災害時に保健所機能を維持する上で早急な対応が必要である。

1	施設名	北秋田地域振興局大館福祉環境部
---	-----	-----------------

1 施設の概要

施設名称	北秋田地域振興局大館福祉環境部	所在地	大館市十二所字平内新田
施設面積	1,810.04 m ²	建設年	H 1 3
構造・階数	鉄筋コンクリート造・平家	台帳価格	288,705,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。 なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

現在は、民間譲渡等の予定も無く、税法上の鉄筋コンクリート造の耐用年数である50年を超えるまで、適宜修繕を行いながら使用する。

4 管理上の課題等

- ・外壁のコーキング剥がれ修理、屋上排水管詰まり
- ・外壁、窓枠、窓一体型網戸の補修
- ・正面玄関前点字ブロックの修繕
- ・正面玄関天井の腐食
- ・車庫のシャッター修繕

5 管理に関する実施方針

・庁舎の劣化が進んでいる中、来庁者の利便性・安全性の確保に関する部分を優先して修繕を実施していく。

6 管理に関する実施計画

大館福祉環境部に係る今後１０年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R1	空調設備更新	65,560	
	(合 計)	65,560	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,171	2,265	2,276	
運用コスト	2,371	2,172	1,731	
修繕コスト	1,808	0	0	
その他	0	0	0	
(合計)	6,350	4,437	4,007	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日 平均約20人で推計。

2	施設名	北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部
---	-----	-------------------

1 施設の概要

施設名称	北秋田地域振興局鷹巣阿仁福祉環境部	所在地	北秋田市鷹巣字東中岱
施設面積	1,023.57 m ²	建設年	S 4 6 (H 1 4 改修増築)
構造・階数	鉄筋コンクリート造 2 階建	台帳価格	130,461,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。 なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備等の計画的な改修・更新を実施し、施設を維持する。

4 管理上の課題等

- ・障害者用スロープのロードヒーティングが故障しており、修繕が必要である。
- ・事務室のタイルカーペットが、竣工以来一度も手当されておらず、相当数の剥離とともに汚れが目立ち不衛生であるため、張り替え等が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・障害者用スロープの北側半分が故障により通電しない。積雪寒冷地のため、冬期間は車椅子利用者の来庁に支障を来しており、早急に修繕等対応しなければならない。
- ・タイルカーペットの貼り替え等の対応が必要である。
- ・庁舎外壁に設置されている配水管の一部が腐食しており、スロープ利用者に排水が飛び散るため修繕が必要。

6 管理に関する実施計画

鷹巣阿仁福祉環境部に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	空調機室外機修繕	769	
H30	空調機室外機修繕	919	
R1	通用口外階段修繕ほか	888	
R2	空調設備更新	40,447	
	(合 計)	43,023	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,886	1,436	1,569	
運用コスト	1,177	1,051	964	
修繕コスト	1,855	286	350	
その他				
(合計)	4,918	2,773	2,883	

【収入】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日 平均約20人で推計。

3	施設名	山本地域振興局福祉環境部
---	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	山本地域振興局福祉環境部	所在地	能代市御指南町
施設面積	998.87 m ²	建設年	S44
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	135,452,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。 なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域保健医療福祉調整本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・目標使用年数経過後の取り扱いは、社会情勢の変化も踏まえ、再度検討する。

4 管理上の課題等

- ・設備機器が耐用年数を迎えるため、今後も計画的に改修・更新を実施する。

5 管理に関する実施方針

- ・事務室タイルカーペット：カーペットの剥離が複数箇所あり、シミ等により不衛生な状態でもあることから交換等が必要である。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

山本福祉環境部に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額	備考
R5	空調設備改修（設計）	2,370	
R6	空調設備改修工事	40,440	
	（ 合 計 ）	42,810	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,601	1,539	1,491	
運用コスト	768	724	561	電気料は庁舎に計上されているため除く。
修繕コスト				
その他				
（合計）	2,369	2,263	2,052	

【収入】	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：人）

【利用者等】	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。各種申請等の来所者1日平均約20人で推計。

4	施設名	秋田地域振興局福祉環境部
---	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	秋田地域振興局福祉環境部	所在地	潟上市昭和乱橋字古開
施設面積	2,282.07 m ²	建設年	H10
構造・階数	R C造平屋建	台帳価格	278,724,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。 なお、今後の施設維持と移転に係るコスト等の比較結果によっては移転を検討するが、その場合であっても、男鹿・南秋地域の住民の利便性に配慮した場所とする必要がある。加えて、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・来庁者等の安全確保のため、設備等を計画的に更新・改修しつつ、適宜修繕しながら施設を維持する。

4 管理上の課題等

- ・窓枠、外壁など、劣化が著しい箇所が多数ある。
- ・空調設備の効率が悪く、執務環境に影響が出ている。
- ・建設時から発生した地盤沈下の影響により、随所に陥没やひび割れがあるため、耐久性の診断が必要と思われる。

5 管理に関する実施方針

・全体的に劣化が著しい状態だが、来庁者の安全に関わる部分や職員の執務に影響が大きい部分を優先的に修繕していく。

6 管理に関する実施計画

秋田福祉環境部に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	冷温水発生機修繕	859	
H29	玄関アプローチ上屋改修等	6,878	
H30	電話設備更新工事	5,018	
R1	増築部分の取合い修繕	530	
R2	非常用発電機エンジン修繕	803	
R3	自動ドア修繕等	2,824	
R6	冷温水発生機更新	108,867	
R6	浄化槽ルーツフロア更新工事	686	
	(合 計)	126,465	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,334	2,391	2,396	
運用コスト	3,503	3,278	3,043	
修繕コスト	9,505	1,652	627	
その他				
(合計)	15,342	7,321	6,066	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日 平均約20人で推計。

5	施設名	由利地域振興局福祉環境部
---	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	由利地域振興局福祉環境部	所在地	由利本荘市水林
施設面積	1,237.15 m ²	建設年	S 6 0
構造・階数	鉄筋コンクリート2階	台帳価格	114,602,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。 なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建物の損傷・劣化等から、大規模修繕を実施する。

4 管理上の課題等

- ・老朽化による自動ドア（内側）の差替
- ・軒先爆裂の修繕
- ・高圧気中開閉器交換工及び変圧器絶縁油交換工事
- ・他の福祉環境部同様のWi-Fi環境整備

5 管理に関する実施方針

- ・ 部品の供給・交換が困難な玄関自動ドア（内側）を差し替える。
- ・ 爆裂により軒下から障害者用駐車区画やスロープにコンクリート片が落下する事故を防ぐ。
- ・ 高圧機器は15年、変圧器は20年が耐用年数であり、いずれも更新時期を過ぎている。経年劣化があり、地絡など非常時に波及事故の危険回避の役割を果たせない可能性がある。（敷地内の本柱のため）
- ・ 部内の各所でウェブ会議を行えるよう、Wi-Fi設備を備える。

6 管理に関する実施計画

由利福祉環境部に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	冷暖房空調設備更新工事	35,816	
R7	自動ドア機器差替え修繕	592	
〃	軒先爆裂修繕	1,085	
〃	Wi-Fi環境整備	970	
〃	高圧気中開閉器交換工及び変圧器絶縁油交換工事	1,333	
	(合 計)	39,796	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,931	2,040	2,049	
運用コスト	1,675	1,298	1,265	
修繕コスト	237	10	369	
その他				
(合計)	3,843	3,348	3,683	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日 平均約20人で推計。

6	施設名	仙北地域振興局福祉環境部
---	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	仙北地域振興局福祉環境部	所在地	大仙市大曲上栄町
施設面積	1,145.47 m ²	建設年	S45（増築改修H14）
構造・階数	鉄筋コンクリート2階建て	台帳価格	121,546,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。 なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・来庁者等の安全確保のため、設備等を計画的に更新・改修しつつ、適宜修繕しながら施設を維持する。

4 管理上の課題等

・保健所建物の軒天において、塗装部分が剥がれ、落下の恐れがあるため、修繕が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・ 躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

仙北福祉環境部に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	空調機室外ユニット修繕	523	
〃	耐震改修工事	19,074	
R4	空調設備更新工事	54,219	
	(合 計)	73,816	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,724	1,759	1,781	
運用コスト	2,339	2,319	2,086	
修繕コスト	642	52	685	
その他				
(合計)	4,705	4,130	4,552	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日 平均約20人で推計。

7	施設名	平鹿地域振興局福祉環境部
---	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	平鹿地域振興局福祉環境部	所在地	横手市旭川
施設面積	1,499.81 m ²	建設年	S45 (H15増築)
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	239,688,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。 なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

目標使用年数は、増築前の施設の耐用年数とした。

4 管理上の課題等

・執務室の照度が不足しているため、早期に照明機器を改修する必要がある。

5 管理に関する実施方針

- ・執務室内の照度が不足しているため、早期に照明機器を改修する。

6 管理に関する実施計画

平鹿福祉環境部に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	暖冷房改修電気設備工事	10,192	
〃	暖冷房改修機械設備工事	57,750	
R3	耐震改修工事	5,214	
R4	非常灯更新工事	2,530	
R5	エレベーター 回転計(エンコーダー)交換修繕	660	
R6	GHPエアコン室外機(GHP1-2)コンプレッサー交換修繕	1,287	
R6	GHPエアコン室外機(GHP1-1)コンプレッサー交換修繕	2,343	
	(合 計)	79,976	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,792	1,641	1,727	
運用コスト	612	608	470	
修繕コスト	1,855	202	49	照明器具修繕(H25)
その他	0	0	0	
(合計)	4,259	2,451	2,246	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日 平均約20人で推計。

8	施設名	雄勝地域振興局福祉環境部
---	-----	--------------

1 施設の概要

施設名称	雄勝地域振興局福祉環境部	所在地	湯沢市千石町
施設面積	996.90 m ²	建設年	H 1 4
構造・階数	鉄筋コンクリート造・2階	台帳価格	181,341,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 業務の性質上、独立した建物であることが望ましく、引き続き、適宜修繕を行いながら使用していく。 なお、地域振興局の庁舎に空きスペースが生じた場合には、集約化を検討するが、その場合であっても、精神保健やエイズ、感染症の相談等に関する業務を行っていること、災害発生時には地域災害医療対策本部を設置する必要があること、普段から身体の不自由な方が多く来庁することなどを十分に考慮し、必要な構造、スペース等を確保する必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

建物（鉄筋コンクリート造）の耐用年数に基づき目標使用年数を決定した。

4 管理上の課題等

・防水シートの劣化により玄関屋根に雨漏りが生じており、年々補修箇所が拡大している。屋根腐食防止のためにも早期に修繕を行う必要がある。

・外壁劣化に伴う塗装剥離が複数箇所あり、その範囲も年々拡大している。躯体保護のため早期に修繕を行う必要がある。

・庁内エレベーターにおけるバッテリー及び制御盤インバーターが長期間交換されていないため、故障・不具合発生の恐れがある。

5 管理に関する実施方針

- ・建物外壁は雨水浸透により、年々剥離範囲が広がっていることから、修繕を検討する。
- ・躯体保護のための外壁塗装の周期は15年、屋根防水の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

雄勝福祉環境部に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	空調設備改修	53,405	実績
	(合 計)	53,405	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,240	1,248	1,246	
運用コスト	1,650	1,400	1,150	
修繕コスト	1,070	708	502	
その他	-	-	-	
(合計)	3,960	3,356	2,898	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	5,000	5,000	5,000	カウントしていない。 各種申請等の来所者1日 平均約20人で推計。

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(社会福社会館)

1 施設の概要

施設名称	社会福社会館	所在地	秋田市旭北栄町
施設面積	12,909.98 m ²	建設年	S61
構造・階数	鉄筋コンクリート造地上10階、地下1階 ※一部3階建(心身障害者総合福祉センター部分)	台帳価格	1,187,242,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 県条例に基づき設置された施設であり、社会福祉推進の拠点として、県民福祉の向上に関わる社会福祉団体等に利用されている。心身障害者総合福祉センターとしての機能については、民間での類似サービス施設はないことから、県が設置すべき施設である。 なお、施設・設備については、構造体は強固で、安全性もほぼ問題ないが、平成28年6月で建設から30年が経過し、設備の老朽化による不具合の箇所が多数発生している。前回の大規模修繕(平成20年)から10年近く経過し、法令上必要な措置を講じなければならない部分もあることから、大規模修繕が必要となっている。		

※ 集約・複合化の検討について

当該施設は、社会福祉団体及び社会奉仕活動を行う者等に対する支援をはじめ、会館の一部として、障害者のための相談や事業などを行う県心身障害者総合福祉センターの機能も持ち合わせていることもあり、現時点では他の施設との集約・複合化は検討していない。

※ 公民連携の検討について

平成18年度から指定管理者制度を導入している。

※ 民間等(市町村等を含む)への譲渡の検討について

施設設置の趣旨に鑑み、現時点では民間等への譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

県全体の社会福祉を推進する団体の活動拠点や、他に類似施設のない心身障害者総合福祉センターとして、県が管理運営すべき施設であるため、現時点では市町村との協働は検討していない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

社会福祉推進の拠点及び心身障害者総合福祉センターとして県民に必要な施設であることから、予防保全型管理を行いながら、耐用年数まで現施設を使用する。
目標使用年数経過後は、建替等が必要となる。

4 管理上の課題等

設備の老朽化が進み、前回の大規模修繕（平成20年）から10年近く経過し、法令上必要な措置を講じなければならない部分もあることから、平成28年度に施設設備の劣化度診断調査を実施した結果、次の課題が明確となっている。

- 建築後40年近く経過し、これまで修繕されていない不具合が生じている箇所の修繕や、更新等が必要な設備等が多数ある。
- 施設を安全に利用するためには、使用年限までの間、費用及び老朽化・不具合の状況等を考慮しながら、計画的に修繕を進めていく必要がある。

5 管理に関する実施方針

平成28年度に実施した劣化度診断調査結果をもとに、劣化状況及び法令上必要な年限の措置等を考慮して作成された保全計画に基づき、来館者及び入居団体が安全に利用できるよう、修繕を計画的に実施する。

○建築関係

雨漏りに対する防水工事、経年劣化による外壁・サッシ等の破損等の不具合箇所を修繕する外装及び内装工事を実施する。

○電気設備

更新年数を経過した設備の更新や電源装置のバッテリーの交換等を実施する。

○機械設備

腐食や故障している冷温水関係の配管とその機械設備、給水管の更新等を実施する。

6 管理に関する実施計画

社会福祉会館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H28	駐車場・駐輪場増設工事 等	28,710	
H29	屋上・トップライト防水 等	45,771	
H30	空調設備設計、天井改修工事 等	9,531	
R1	空調機改修工事 等	35,875	
R2	冷温水配管改修工事 等	107,394	
R3	外壁工事 等	207,733	
R4	昇降機修繕工事 等	37,550	
R5	カーテンウォール改修工事	64,163	
	空調設備改修工事設計	1,617	
R6	空調機更新工事、設計	256,072	実績見込額
	和式トイレ洋式化工事、設計	14,311	実績見込額
R7	冷温水発生機更新工事設計	4,300	実施予定
	給水メーター更新工事	7,260	実施予定
	(合 計)	820,287	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	24,179	24,361	23,977	
運用コスト	26,550	25,059	21,948	
修繕コスト	1,005	3,330	7,303	
その他	0	0	0	
(合計)	51,734	52,749	53,228	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	10,752	10,994	11,615	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	48,040	46,383	54,096	※有料会議室利用人数のみ

部局(庁)名	健康福祉部
--------	-------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（旧福祉相談センター）

1 施設の概要

施設名称	旧福祉相談センター	所在地	秋田市中通
施設面積	1,016.53 m ²	建設年	H17
構造・階数	SRC造 地上8階（1階の一部）	台帳価格	134,877,000 円

※「施設面積」及び「台帳価格」には、秋田市新屋にある車庫分を含む。

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	廃止	他の用途への転換を実施
「基本的な方針の考え方」 ・令和4年度末で子ども・女性・障害者相談センターへ複合化された施設である。 ・移転後のスペースについては、他の用途への転換を検討中。		

※ 集約・複合化の検討について

子ども・女性・障害者相談センターへ複合化済み

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

当センターの機能は令和4年度末をもって子ども・女性・障害者相談センターへ移転したが、センターが入居していた明德館ビルについては、今後、所管する教育庁において、計画的に設備等の修繕を実施していく。

4 管理上の課題等

移転後のスペース活用について検討中である。

5 管理に関する実施方針

所管する教育庁において、計画的に設備等の修繕を実施。

6 管理に関する実施計画

旧福祉相談センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R1	建替に係る基本設計等	3,638	現建物床面積計の19.81%
R2	〃 実施設計等	9,573	〃
R3	本体工事、設備工事等	333,191	〃
R4			
R6	旧福祉相談センター内装修繕	754	
	(合 計)	347,155	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	0	0	0	明德館高校負担
運用コスト	1,061	1,575	1,474	センター負担分
修繕コスト	0	0	0	明德館高校負担
その他	0	0	0	明德館高校負担
(合計)	1,061	1,575	1,474	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	5,761	補聴器相談事業診療報酬

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	1,078	955	1,409	来所者人数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（総合保健センター）

1 施設の概要

施設名称	総合保健センター	所在地	秋田市千秋久保田町
施設面積	9,493.79 m ²	建設年	S61
構造・階数	R C 造・地上5階、地下1階	台帳価格	801,403,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 現時点で構造体に大きな問題はないが、老朽化に対応し、大規模修繕が必要である。当施設は県民に対する人間ドック提供や、医療関係団体が入居しており、県民の健康保持増進のため利便性の高い施設として今後も活用していく必要がある。		

※ 集約・複合化の検討について

- ・集約・複合化は予定していない。

※ 公民連携の検討について

- ・平成18年度から指定管理者制度を導入している。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

- ・生活習慣病による死亡率が高止まりしている本県において、人間ドックによる疾病の早期発見は重要であり、引き続き健診の受診環境の提供が必要である。人間ドックを提供できる組織は限られており譲渡は検討していない。

※ 市町村協働の検討について

- ・市町村協働は現時点で検討していない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・施設及び設備の修繕を行い、今後20年以上は使用する。
- ・目標使用年数経過後の取扱いについては、更新を前提に検討していく。

4 管理上の課題等

- ・設備等の老朽化が著しいため、今後も計画的な改修・更新が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・ 躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

総合保健センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	外壁改修（実施設計）	1,604	健康環境センター含む
4	外壁改修	108,278	健康環境センター含む
6	非常用発電機蓄電池交換	1,293	
6	高圧受電盤他機器更新（設計）	924	
6	煙突内石綿除去工事（設計）	1,877	
7	高圧受電盤他機器更新（工事）	101,947	
	（ 合 計 ）	215,923	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
保守コスト	27,195	27,490	29,105	
運用コスト	21,668	21,735	23,200	
修繕コスト	1,204	1,089	902	
その他				
（合計）	50,067	50,314	53,207	

（単位：千円）

【収入】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
利用料収入	285,202	286,807	300,811	

（単位：人）

【利用者等】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数等	5,850	5,889	6,134	総合健診受診者数

部局(庁)名	健康福祉部
--------	-------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（旧中央児童相談所）

1 施設の概要

施設名称	旧中央児童相談所	所在地	秋田市新屋下川原町
施設面積	1,404.99 m ²	建設年	S 4 8
構造・階数	鉄骨・一部2階	台帳価格	46,472,003 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	複合化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 令和5年4月1日から、秋田県子ども・女性・障害者相談センターに中央児童相談所を移転しており、普通財産として管理している。		

※ 集約・複合化の検討について

令和5年4月から複合化施設に移転済

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数50年】

令和5年4月に複合化施設に移設済

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

令和5年4月の複合化施設への移転後の現有施設の取り壊し等の検討が必要

6 管理に関する実施計画

中央児童相談所に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	冷房設備更新	12,116	
R1	建替に係る基本設計等	9,205	現建物床面積計の50.12%
R2	〃 実施設計等	24,219	〃
R3	本体工事、設備工事等	842,984	〃
R4			
	(合 計)	888,524	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,073	2,814	2,883	
運用コスト	4,677	4,893	3,914	
修繕コスト	1,184	526	2,099	
その他	48	74	113	
(合計)	8,982	8,307	9,009	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：件)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	2,241	2,357	2,478	相談受付件数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（千秋学園）

1 施設の概要

施設名称	千秋学園	所在地	秋田市新屋下川原町
施設面積	2,962.98 m ²	建設年	S 4 9
構造・階数	鉄骨・一部2階	台帳価格	76,354,013 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 施設の全体的な老朽化は進んでいるものの、当面の間は機能維持のための修繕で対応する。		

※ 集約・複合化の検討について

現時点では検討しておらず、当面は施設の修繕等で対応予定である。建替をする場合、施設の複合化は、行政資源の効果的な活用を図る上で選択肢の一つではあるが、児童自立支援施設としての支援のあり方や、そのために必要な望ましい環境等を慎重に勘案し、検討する必要がある。

※ 公民連携の検討について

将来的な建替を見据え、公民連携手法の導入適否を検討している。不良行為をなし、又はなすおそれのある児童等が、児童相談所の措置、もしくは家庭裁判所からの送致を受けて入所する施設であることから、公民連携については慎重に検討を進めている。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

検討していない。児童福祉法施行令第36条により都道府県に設置義務がある県内唯一の施設であることから、民間等への譲渡になじまない。

※ 市町村協働の検討について

検討していない。児童福祉法施行令第36条により都道府県に設置義務がある県内唯一の施設であることから、市町村協働になじまない。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

施設の全体的な老朽化は進んでおり、施設のあり方について早急な検討が必要になってきている。

4 管理上の課題等

施設全体の老朽化が進んでいる。また、個別指導を必要とする児童の処遇スペースがない。

5 管理に関する実施方針

施設のあり方に係る検討を進めながら、当面は機能維持のための修繕で対応。

6 管理に関する実施計画

千秋学園に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R2	内外壁改修工事	14,289	
R3	千秋学園体育館棟耐震補強改修	3,669	
R4	千秋学園体育館棟耐震補強改修	12,540	
R5	高圧受電設備改修	26,224	
R6	外壁タイル改修（実施設計）	1,672	
R7	千秋学園体育館屋根改修（実施設計）	2,691	
	（ 合 計 ）	61,085	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	2,987	3,056	3,152	
運用コスト	11,935	10,883	8,737	
修繕コスト	3,653	3,793	4,721	
その他	0	0	0	
（合計）	18,575	17,732	16,610	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	6	9	11	新規入園者数

部局(庁)名	健康福祉部
--------	-------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（旧母子福祉総合センター）

1 施設の概要

施設名称	旧母子福祉総合センター	所在地	秋田市手形住吉町
施設面積	894.46 m ²	建設年	S 5 2
構造・階数	RC造・3階	台帳価格	43,134,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	廃止	複合化（主）を実施
「基本的な方針の考え方」 令和5年4月1日から、秋田県子ども・女性・障害者相談センターに移転済。		

※ 集約・複合化の検討について

令和5年4月から複合化施設に移転済。

※ 公民連携の検討について

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

※ 市町村協働の検討について

3 目標使用年数 【目標使用年数50年】

令和5年4月に、新複合化相談施設に移設済。

4 管理上の課題等

5 管理に関する実施方針

令和5年4月の複合化施設への移転後の現有施設の取り壊し等の検討が必要

6 管理に関する実施計画

母子福祉総合センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R1	建替に係る基本設計等	5,522	現建物床面積計の30.07%
R2	〃 実施設計等	14,531	〃
R3	本体工事、設備工事等	505,757	〃
R4			
	(合 計)	525,810	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	942	978	984	
運用コスト	3,429	3,298	2,736	
修繕コスト	220	976	578	
その他	0	0	184	樹木剪定2件
(合計)	4,591	5,252	4,482	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：件)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	4,686	3,506	3,754	相談受付件数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（衛生看護学院）

1 施設の概要

施設名称	秋田県立衛生看護学院	所在地	横手市前郷
施設面積	6,078.39 m ²	建設年	H20
構造・階数	RC造・4階	台帳価格	656,860,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	未実施	
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 必要不可欠な施設修繕・設備更新等により、県内医療界への看護人材輩出・定着を見据えた、質の高い教育環境を確保する。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数47年】

減価償却資産の耐用年数（学校：47年）を目標使用年数とした。
看護職員として社会に貢献する人材の育成を継続して行うため、耐用年数を目処に施設を建替え（更新）。

4 管理上の課題等

・建設時に導入した冷暖房空調機器の保守部品供給が令和2年11月をもって終了となっているため、更新が必要。

5 管理に関する実施方針

・冷暖房空調機器はKHP（灯油式ヒートポンプ）方式であるが、近年の灯油価格上昇や他方式の能力向上に伴う需要減少で、製造メーカーの事業撤退および生産終了に伴う保守部品供給期限の告知がなされていることから、他方式で最もトータルコストが低いGHP（ガス式ヒートポンプ）方式の冷暖房空調機器に更新する。

6 管理に関する実施計画

衛生看護学院に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R4	アスファルト床補修	517	過年度実施 実績額
	(合 計)	517	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	7,516	6,937	6,627	FM基礎台帳より
運用コスト	8,090	7,956	6,312	FM基礎台帳より
修繕コスト	596	608	1,249	
その他	0	0	0	
(合計)	16,202	15,501	14,188	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	16,933	16,708	16,765	歳入決算より

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	168	166	170	FM基礎台帳より

【総括表】

部局(庁)名	健康福祉部
--------	-------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(老人福祉総合エリア)

1 対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

(対象施設)

No.	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	北部老人福祉総合エリア	大館市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
2	中央地区老人福祉総合エリア	秋田市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
3	南部老人福祉総合エリア	横手市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
4	能代山本老人福祉総合エリア	能代市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
5	南部老人福祉総合エリア(軽費老人ホーム)	横手市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
6	南部老人福祉総合エリア(養護老人ホーム)	横手市	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

2 施設管理に関する優先順位の方針

施設(設備)の劣化状況や利用者ニーズ等を踏まえ、緊急性や必要性の高いものを優先して修繕等を行う。

1	施設名	北部老人福祉総合エリア
---	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	北部老人福祉総合エリア	所在地	大館市十二所字平内新田
施設面積	7,327.28 m ²	建設年	H 1 1
構造・階数	R C 造・2 階	台帳価格	1,507,087,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」 民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

指定管理制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・指定管理による運営を継続しながら、現在の指定管理者である（福）秋田県社会福祉事業団など民間等への譲渡を検討していく。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・現在の指定管理者である（福）秋田県社会福祉事業団など民間等への譲渡を検討しながら、施設を存続していく。

4 管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修や空調設備等各種機器の更新のため、多額の費用を要する。

5 管理に関する実施方針

- ・ 建築後 20 年が経過する平成 31 年度以降、設備の劣化や、部品調達ができなくなるため、各種設備の更新、改修が必要になる。
- ・ 建築後 25 年が経過する令和 6 年度以降、屋根、内外装の劣化に伴う改修工事が必要になる。

6 管理に関する実施計画

北部老人福祉総合エリアに係る今後 10 年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R5	厨房エアコン更新	9,779	
〃	照明器具LED化	2,844	
R6	外壁タイル改修（設計）	3,050	
R7	避難器具緩降機更新	3,011	
〃	暖房用熱交換器更新	1,871	
	(合 計)	20,555	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	12,644	12,316	14,125	
運用コスト	31,305	31,400	25,446	
修繕コスト	6,800	2,781	2,098	
その他	0	0	0	
(合計)	50,749	46,497	41,669	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	21,422	22,253	23,306	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	76,922	79,090	78,964	

2	施設名	中央地区老人福祉総合エリア
---	-----	---------------

1 施設の概要

施設名称	中央地区老人福祉総合エリア	所在地	秋田市御所野下堤五丁目
施設面積	9,344.55 m ²	建設年	H9
構造・階数	R C造・2階	台帳価格	1,691,480,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」 民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

指定管理制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・指定管理による運営を継続しながら、現在の指定管理者である（福）秋田県社会福祉事業団など民間等への譲渡を検討していく。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・現在の指定管理者である（福）秋田県社会福祉事業団など民間等への譲渡を検討しながら、施設を存続していく。

4 管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修のため、多額の費用を要する。
・屋内プールの天井内側が破損し、修繕に多額の費用を要する。

5 管理に関する実施方針

・建築後25年が経過する令和4年度以降、老朽化に伴う屋根等の改修や各種設備の更新、改修が必要になる。

6 管理に関する実施計画

中央地区老人福祉総合エリアに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R3	換気機器設備更新	2,834	
R4	屋内プール天井改修(設計)	6,428	
R5	屋内プール天井改修(工事)	247,843	
〃	レストラン・宿泊室エアコン更新	31,869	
〃	照明器具LED化	1,325	
〃	空調機更新(浴室脱衣所、宿泊室廊下、休憩室)	24,860	
R6	外壁タイル改修(工事)	87,860	
〃	屋内プール天井改修(工事)	95,796	
R7	屋内プール天井改修(工事)	590,384	
	(合 計)	1,086,365	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	16,280	16,285	17,075	
運用コスト	61,722	64,389	58,028	
修繕コスト	11,149	6,628	22,550	H27(10,284)制御盤等更新
その他	0	0	0	
(合計)	89,151	87,302	97,653	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	52,412	53,978	55,070	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	156,515	161,517	164,214	

3	施設名	南部老人福祉総合エリア
---	-----	-------------

1 施設の概要

施設名称	南部老人福祉総合エリア	所在地	横手市大森町字菅生田
施設面積	11,113.40 m ²	建設年	S 6 3
構造・階数	R C 造・2 階	台帳価格	820,990,008 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」 民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

指定管理制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・指定管理による運営を継続しながら、現在の指定管理者である（福）秋田県社会福祉事業団など民間等への譲渡を検討していく。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数 60 年】

- ・建物の耐用年数に基づき、目標使用年数を決定した。
- ・利用者等の安全確保を第一に考え、設備機器等を計画的に改修・更新し、施設を維持する。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修や空調設備等各種機器の更新のため、多額の費用を要する。

5 管理に関する実施方針

- ・建築以来、33年（昭和63年7月一部開設）が経過しており、建物及び設備の老朽化に伴う改修、更新が必要となる。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

南部老人福祉総合エリアに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29, 30	居室バリアフリー化改修	172,419	
R1	屋根防水改修（生きがい創作等）	5,085	
R5	中央監視装置更新	69,372	
〃	宿泊室エアコン更新	2,336	
〃	照明器具LED化	72,979	
R6	外壁タイル改修（設計）	2,760	
R7	避難滑り台撤去	1,617	
〃	暖房用ポンプ更新	24,776	
〃	消火器更新	1,392	
〃	訪問介護・居宅介護事業所エアコン更新	1,878	
	暖房用熱交換器修繕	2,024	
	（ 合 計 ）	179,134	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	11,360	13,160	13,160	
運用コスト	85,192	82,372	68,850	
修繕コスト	13,076	95,696	49,364	H26, H27屋上防水等改修
その他	0	0	0	
（合計）	109,628	191,228	131,374	

（単位：千円）

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	25,730(19,722)	25,176(18,313)	25,071(14,865)	()内はマンション分、外数

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	69,604(16)	71,328(15)	71,070(10)	()内はマンション分、外数

4	施設名	能代山本老人福祉総合エリア
---	-----	---------------

1 施設の概要

施設名称	能代山本老人福祉総合エリア	所在地	能代市字腹鞆の沢
施設面積	3,080.17 m ²	建設年	H 3
構造・階数	R C 造・1 階	台帳価格	324,013,001 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅲ型	ハード面の評価が平均を上回り、ソフト面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」 民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・無償貸付を継続しながら、現在の貸付先である能代山広域市町村圏組合等への譲渡を検討していく。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・現在の無償貸付先である能代山本広域市町村圏組合等への譲渡を検討しながら施設を存続する。

4 管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修や空調設備等各種機器の更新をする場合、多額の費用を要する。

5 管理に関する実施方針

・能代山本広域市町村圏組合に無償貸与している施設であり、施設運営に関する県の関与がないことから、今後、県費による施設の修繕等は予定しない。

6 管理に関する実施計画

能代山本老人福祉総合エリアに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	3,423	3,732	3,698	
運用コスト	13,491	12,316	9,707	
修繕コスト	1,551	1,260	1,708	
その他	0	0	0	
(合計)	18,465	17,308	15,113	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	10,993	10,559	10,144	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	27,364	26,555	24,981	

5	施設名	南部老人福祉総合エリア軽費老人ホーム
---	-----	--------------------

1 施設の概要

施設名称	南部老人福祉総合エリア軽費老人ホーム	所在地	横手市大森町字菅生田
施設面積	2,470.39 m ²	建設年	H 2
構造・階数	R C造・2階	台帳価格	210,422,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」 民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・無償貸付を継続しながら、現在の貸付先である（福）秋田県社会福祉事業団等への譲渡を検討していく。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・現在の無償貸付先である（福）秋田県社会福祉事業団等への譲渡を検討していく。

4 管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修や空調設備等各種機器の更新のため、多額の費用を要する。

5 管理に関する実施方針

・建築以来、32年（平成2年4月開設）が経過しており、建物及び設備の老朽化に伴う改修、更新が必要となる。

6 管理に関する実施計画

南部老人福祉総合エリア軽費老人ホームに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	202	1,097	1,097	
運用コスト	1,297	1,225	11,126	
修繕コスト	2,978	2,743	1,749	
その他	0	0	0	
(合計)	4,477	5,065	13,972	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	34,851	33,940	53,278	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	43	43	37	

6	施設名	南部老人福祉総合エリア養護老人ホーム
---	-----	--------------------

1 施設の概要

施設名称	南部老人福祉総合エリア養護老人ホーム	所在地	横手市大森町字菅生田
施設面積	2,098.94 m ²	建設年	S 6 3
構造・階数	R C 造・1 階	台帳価格	150,371,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	事業の継続を伴う民間等への譲渡を実施
「基本的な方針の考え方」 民間サービスへの代替性が高い施設であるため、民間等への譲渡を検討する。譲渡できない場合には、建替えは実施しない。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・無償貸付を継続しながら、現在の貸付先である（福）秋田県社会福祉事業団等への譲渡を検討していく。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・現在の無償貸付先である（福）秋田県社会福祉事業団等への譲渡を検討していく。

4 管理上の課題等

・今後、施設の老朽化に伴う屋根、外壁及び内装等の改修や空調設備等各種機器の更新のため、多額の費用を要する。

5 管理に関する実施方針

・建築以来、33年（平成元年2月開設）が経過しており、建物及び設備の老朽化に伴う改修、更新が必要となる。

6 管理に関する実施計画

南部老人福祉総合エリア養護老人ホームに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	特種浴槽設置工事	15,407	
R3	養護老人ホーム居室エアコン設置	1,620	
	(合 計)	0	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	514	549	549	
運用コスト	1,114	1,195	1,076	
修繕コスト	3,391	3,442	5,244	
その他	0	0	0	
(合計)	5,019	5,186	6,869	

(単位：千円)

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	113,022	111,507	113,008	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	48	48	49	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（秋田県点字図書館）

1 施設の概要

施設名称	秋田県点字図書館	所在地	秋田市土崎港南
施設面積	1,020.43 m ²	建設年	H6
構造・階数	R C造平屋建	台帳価格	134,956,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 令和3年度から令和7年度までの期間で指定管理により運営することとし、指定管理者は(福)秋田県社会福祉事業団である。県内唯一の視覚障害者情報提供施設であり、指定管理期間終了後も機能を維持していく方針である。建物の経年劣化が懸念されるが、利用者の安全に係る損壊箇所はなく、今後、必要に応じて修繕を行う。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

指定管理者制度を導入済

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

利用者の安全に係る損壊箇所はないが、必要に応じて大規模修繕を行い、機能を維持する。

4 管理上の課題等

現時点で大規模修繕の必要はないが、経年劣化により小破修繕を実施すべき箇所がある。

5 管理に関する実施方針

平成27年度に冷暖房設備を大規模修繕しており、現時点で大規模修繕は予定していない。
また、小破修繕については基本的に指定管理料の範囲内で実施することとしている。

6 管理に関する実施計画

秋田県点字図書館に係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	玄関階段タイル他修繕工事	1,496	指定修繕
R1	誘導灯交換工事	585	指定修繕
〃	高気圧中負荷開閉器交換工事	886	指定修繕
R6	窓枠シーリング貼替（玄関雨漏り修繕）工事	974	R6.11.25実施済
R7	自動ドア装置交換	1,265	R7当初予算にて措置済
	（ 合 計 ）	5,206	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	1,418	1,330	1,330	
運用コスト	2,020	2,023	1,625	
修繕コスト	560	1,086	36,181	H27大規模修繕実施
その他	0	0	0	
（合計）	3,998	4,439	39,136	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：冊）

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用者数等	9,440	10,216	10,179	図書貸出数を記載

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(健康増進交流センター)

1 施設の概要

施設名称	健康増進交流センター	所在地	秋田市河辺三内字丸舞
施設面積	5,448.56 m ²	建設年	H9
構造・階数	R C 造・2階	台帳価格	1,121,893,002 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	Ⅱ型	ハード面の評価が平均を下回り、ソフト面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

今後、温泉浴場施設の老朽化に対応した大規模修繕は必要であるものの、現時点で構造自体に大きな問題はなく、厚生労働省から、「温泉利用型健康増進施設」の認定を受けた「健康増進のための温泉利用及び運動を安全かつ適切に行うことができる健康づくり拠点施設」として有効に活用する。一定の役割を果たした後は、建物の更新はしない。

※ 集約・複合化の検討について

・集約・複合化は予定していない。

※ 公民連携の検討について

・平成18年度から指定管理者制度を導入している。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

・健康づくりの拠点施設として当面は県が関与し、更新時期には譲渡を検討する。

※ 市町村協働の検討について

・既に秋田市の高齢者健康づくりセンターと合築するなどしており、これ以上の集約・複合化等は検討はしていない。更新時期には譲渡と併せて検討する。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

・施設及び設備の長寿命化対策（温泉設備ポンプ等インバーター制御装置導入等）を行い、今後30年以上は使用する。目標使用年数経過後は、譲渡・集約などを検討する。

4 管理上の課題等

・設備等の老朽化が著しいため、今後も計画的な改修・更新が必要である。

5 管理に関する実施方針

- ・ 躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

健康増進交流センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H30	自動ドア修繕等	5,095	
R2	次亜塩素酸薬液槽及びヘッダー管更新工事	2,090	
R3	廊下トップライト修繕	2,084	
R4	外壁改修（実施設計）等	89,965	
R5	給湯ボイラー改修等業務委託等	85,460	
R6	中央監視装置更新	27,855	
〃	省エネ改修事業（LED）	99,000	
R7	自動塩素濃度管理装置更新（実施設計）	10,434	R7当初予算：計上なし
〃	浄化槽エア管改修（実施設計）	5,829	〃
〃	加圧給水ユニット部品交換	2,396	〃
〃	自動ドア装置更新	2,420	〃
〃	温泉浴場設備改修	275,000	〃
〃	冷却塔修繕	29,450	〃
	（ 合 計 ）	637,078	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
保守コスト	40,427	41,059	42,207	
運用コスト	68,778	70,971	64,844	
修繕コスト	7,560	7,560	7,560	
その他				
（合計）	116,765	119,590	114,611	

（単位：千円）

【収入】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
利用料収入	51,601	54,724	53,400	

（単位：人）

【利用者等】	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
利用者数等	94,006	95,029	96,094	

部局(庁)名	健康福祉部
--------	-------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（心身障害者コロニー）

1 施設の概要

施設名称	心身障害者コロニー	所在地	由利本荘市西目町出戸字孫七山
施設面積	34,469.75 m ²	建設年	H4～H11（改築）
構造・階数	R C造平屋建ほか	台帳価格	3,628,507,025 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県有障害者施設については、障害者自立支援制度の導入など障害福祉を取り巻く環境が大きく変化する中で、県の役割を見直し自立した運営形態への転換を図るため、(福)秋田県社会福祉事業団と協議を行ってきた。これまで水林通勤寮(平成23年4月)、高清水園及び阿桜園(平成28年4月)の3施設を譲与するとともに、平成23年4月1日から平成31年3月31日まで身体障害者更生訓練センターを無償貸付した。

一方、心身障害者コロニーは、定員規模、施設規模が非常に大きく、現状の規模を維持したまま民間がサービスを提供することは難しいことから、令和5年度に「秋田県心身障害者コロニーのあり方検討会」を開催し、今後の施設のあり方について検討したほか、令和6年度は令和5年度のあり方検討会の議論を踏まえ、「秋田県心身障害者コロニー施設整備検討会」を設置し、今後の施設整備の方向性等について検討していくこととしている。

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

施設や設備の老朽化が進んでいるため、計画的に大規模修繕を実施していく必要がある。

4 管理上の課題等

今後、施設の老朽化に伴う設備の更新のため、多額の費用を要する。

5 管理に関する実施方針

- ・令和3年度以降も、耐用年数の経過により更新時期を迎える建物設備について、年次計画により更新する。
- ・躯体保護のための屋根防水及び外壁塗装の改修周期は20年を目標とする。

6 管理に関する実施計画

心身障害者コロニーに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
H29	スプリンクラー設備ほか	142,149	大規模修繕
R1	暖冷房設備改修機械設備工事ほか	279,091	大規模修繕
4～5	給湯配管改修	33,121	大規模修繕（実績額）
6	給食センター空調改修	21,901	大規模修繕（実績額）
7	埋設高圧ケーブル更新（設計のみ）	5,494	大規模修繕
〃	銀杏園・診療所給湯配管付属設備更新（設計のみ）	1,246	大規模修繕
〃	給食センター空調改修（設計のみ）	2,017	大規模修繕
	（ 合 計 ）	485,019	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	15,738	16,122	16,439	
運用コスト	122,759	123,920	103,129	
修繕コスト	27,747	77,820	35,332	県有建築物大規模修繕事業
その他				
（合計）	166,244	217,862	154,900	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

（単位：人）

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	399	382	376	各年度末における入所者数

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（身体障害者更生訓練センター）

1 施設の概要

施設名称	身体障害者更生訓練センター	所在地	秋田市新屋下川原町
施設面積	4,280.47 m ²	建設年	S 51
構造・階数	R C造平屋建ほか	台帳価格	196,608,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	IV型	ハード・ソフト両面の評価が平均を下回る施設
基本的な方針	廃止	除却処分を実施
「基本的な方針の考え方」 平成31年3月31日をもって（福）秋田県社会福祉事業団への無償貸付期間が終了し、廃止した。入所者は平成31年4月1日に開設した障害者支援センター御所野に転所した。		

※ 集約・複合化の検討について

該当なし。

※ 公民連携の検討について

該当なし。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし。

※ 市町村協働の検討について

該当なし。

3 目標使用年数 【令和7年度以降に除却】

現在の建物は老朽化が難しく、他の用途への転用も困難なことから解体除却する。

4 管理上の課題等

令和7年度以降も引き続き建物の状況を定期的に確認する。

5 管理に関する実施方針

令和7年度以降に除却する。

6 管理に関する実施計画

身体障害者更生訓練センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R6	除却	128,414	
	(合 計)	128,414	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	21,218	3,577	3,538	
運用コスト	18,652	18,795	15,277	
修繕コスト	0	0	0	県実施の大規模修繕なし
その他				
(合計)	39,870	22,372	18,815	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	0	0	0	

(単位：人)

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	49	49	47	年度平均入所者

部局(庁)名	健康福祉部
--------	-------

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」（健康環境センター）

1 施設の概要

施設名称	健康環境センター	所在地	秋田市千秋久保田町
施設面積	4,553.52 m ²	建設年	S61
構造・階数	R C 造・5階建	台帳価格	503,997,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	I 型	ハード・ソフト両面の評価が平均を上回る施設
基本的な方針	存続	大規模修繕を実施

「基本的な方針の考え方」

県における保健衛生及び環境保全の科学的・技術的中核機関として、食中毒や感染症の原因究明、食品の安全性確保、環境モニタリング、緊急事例対応など様々な試験検査や調査研究等を行っており、県民の健康被害の防止及び県の環境保全を確保するために必要不可欠であることから、大規模修繕等を実施し、存続する。

なお、食品衛生法第29条に基づき県が設置した食品衛生検査施設であるほか、地域保健法第26条に規定する「地方衛生研究所」である。

※ 集約・複合化の検討について

平成18年4月に衛生科学研究所と環境センターを組織統合し、健康環境センターが発足。平成21年4月に現建物に集約した。現時点では、当センターと集約もしくは複合化できる可能性のある県機関は無いものと考えられる。

※ 公民連携の検討について

当センターが実施している試験検査業務は、行政処分の根拠となることなどから民間等への委託が困難である。また、調査研究については、大学等の研究機関との共同研究などの連携は既に実施しているが、当センターの機能を全て民間等に委託することは困難である。

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

当センターが実施している試験検査業務は、関係法令に基づく行政処分の根拠となることや感染症法に基づく行政検査に位置付けられることなどから民間等への委託が困難であるため、業務を廃止し、民間等へ施設を譲渡することは困難である。

※ 市町村協働の検討について

秋田市以外の市町村は、当センターが実施している試験検査、調査研究等は実施していないことから、協働は困難である。秋田市は保健所を設置し、試験検査機能を有しているが、市自ら対応できない感染症関係の検査の一部を当センターに委託しており、協働により当センターの業務を縮小することは困難である。

3 目標使用年数 【今後20年以上使用】

建物の耐用年数は50年であり、現在、建設から30年以上が経過しているが、空調設備（自動制御装置）等の長寿命化に向けた大規模修繕や必要な改修を行うことにより、今後20年以上の使用が可能と考えられる。

4 管理上の課題等

建設から30年以上が経過し、空調設備等が著しく老朽化していることに加え、建設当時に比べて、検査機器等の種類や台数、稼働環境が変化していることから、適切に業務を遂行するため、引き続き、大規模修繕や改修を行う必要がある。

5 管理に関する実施方針

現時点において見込まれる修繕や更新は次のとおりであるが、災害による被害や突発的な故障は随時対応する。
 空調設備：制御機能が低下。建設以来未更新の自動制御装置を更新する。
 その他の設備：各設備の機能が低下。建設以来未更新の関連する老朽化機器の更新及び修繕を行う。

6 管理に関する実施計画

健康環境センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
29	給排水設備更新	0	総合保健センターへ計上。
29	バイオハザード室改修（実施設計）	1,037	
30	バイオハザード室改修	77,793	
30	全熱交換器修繕	0	総合保健センターへ計上
30	空調機更新（送排風機関係）	0	総合保健センターへ計上。
R1	ヒュームスクラバー設備更新	0	総合保健センターへ計上
R1	館内放送設備更新	1,278	
R2	外壁改修（実施設計）	0	総合保健センターへ計上。
R2	消防用設備修繕	517	
R3	エアコン故障修繕	671	
R4	外壁改修	0	総合保健センターへ計上。
R6	煙突内アスベスト除去工事(設計)	0	総合保健センターへ計上。
	（ 合 計 ）	81,296	

（参考：維持管理経費等の状況）

（単位：千円）

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	14,401	14,748	14,759	
運用コスト	29,092	27,710	24,364	電気、ガス、灯油、水道、電話
修繕コスト	1,462	938	2,346	営繕課再配当需用費等の小破修繕費を計上。
その他			19,440	火災報知設備更新等。（総合保健センター含む）
（合計）	44,955	43,396	60,909	

【収入】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用料収入	-	-	-	

【利用者等】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
利用者数等	-	-	-	

あきた公共施設等総合管理計画に基づく
「個別施設計画」(子ども・女性・障害者相談センター)

1 施設の概要

施設名称	子ども・女性・障害者相談センター	所在地	秋田市手形住吉町
施設面積	3,284.01 m ²	建設年	R 4
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上2階	台帳価格	1,058,080,000 円

2 管理に関する基本的な方針

自己点検・評価の結果	—	—
基本的な方針	存続	機能維持のための修繕を実施
「基本的な方針の考え方」 中央児童相談所、女性相談所、福祉相談センター、精神保健福祉センターの4施設を移転・統合して令和5年度から供用開始した施設であり、適宜修繕を行いながら使用していく。		

※ 集約・複合化の検討について

複合化済み

※ 公民連携の検討について

該当なし

※ 民間等（市町村等を含む）への譲渡の検討について

該当なし

※ 市町村協働の検討について

該当なし

3 目標使用年数 【目標使用年数60年】

- ・建物（鉄筋コンクリート造）の耐用年数に基づき目標使用年数を決定した。
- ・目標使用年数経過後の取扱は、社会情勢の変化も踏まえ、再度、検討する。

4 管理上の課題等

特になし

5 管理に関する実施方針

該当なし

6 管理に関する実施計画

子ども・女性・障害者相談センターに係る今後10年間の修繕等を次のとおり計画する。

年度	修繕等の内容	概算額(千円)	備考
R7	遮音壁設置工事	40,000	
	(合 計)	40,000	

(参考：維持管理経費等の状況)

(単位：千円)

【支出】	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
保守コスト	—	—	—	
運用コスト	—	—	—	
修繕コスト	—	—	—	
その他	—	—	—	
(合計)	—	—	—	

【収入】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用料収入	—	—	—	

【利用者等】	平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
利用者数等	—	—	—	